

平成29年3月7日(火)
国土交通省 関東地方整備局 河川部

記者発表資料

新たに4箇所の「かわまちづくり」計画が登録されます
～河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成に向けて～

国土交通省は、平成29年3月7日付けで「かわまちづくり」支援制度に係る計画の登録を行います。関東地方整備局管内においては、新たに4箇所の「かわまちづくり」計画が登録されますので、お知らせします。



○平成28年度関東地方整備局管内「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧

◆新規箇所 4箇所

かわまちづくりロゴマーク

都県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	備考
茨城県	下妻市	利根川	鬼怒川 小貝川	<small>しもつまし</small> 下妻市かわまちづくり	国土交通省 下妻市	別紙 1-1
茨城県	常総市	利根川	鬼怒川 小貝川	<small>じょうそうし</small> 常総市かわまちづくり	国土交通省 常総市	別紙 1-2
茨城県	那珂市	那珂川	那珂川	<small>とだ</small> 戸多地区かわまちづくり	国土交通省 那珂市	別紙 1-3
東京都	大田区	多摩川	多摩川	<small>はねだくこうあとち</small> 羽田空港跡地かわまちづくり	国土交通省 大田区	別紙 1-4

「かわまちづくり」とは、地域活性化のために景観、歴史、文化及び観光基盤などの地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す取組みです。

- 添付資料
- ・別紙1 各計画の概要
 - ・別紙2(参考) かわまちづくり支援制度の概要

発表記者クラブ

- 茨城県政記者クラブ ○栃木県政記者クラブ ○筑西市記者クラブ ○宇都宮市政記者クラブ
○筑波研究学園都市記者会 ○埼玉県政記者クラブ ○都庁記者クラブ ○竹芝記者クラブ
○神奈川建設記者会

問い合わせ先

【かわまちづくり支援制度について】

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課 電話:048-601-3151(大代表)
課長 伊藤 和彦 (内線3651) 課長補佐 金子 隆信 (内線3656)

【下妻市・常総市かわまちづくりについて】

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 電話:0296-25-2161(代表)
副所長 須藤 純一 調査課長 伊藤 克雄

【戸多地区かわまちづくりについて】

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所 電話:029-240-4061(代表)
副所長 宮崎 和幸 調査第一課長 和田 紘希

【羽田空港跡地かわまちづくりについて】

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 電話:045-503-4000(代表)
副所長 竹本 隆之 河川環境課長 樋口 淳司

しもつまし
「下妻市かわまちづくり」(国土交通省、下妻市)

市町村名: 茨城県 下妻市
 対象河川: 利根川水系鬼怒川 (うち、鬼怒川の直接関連部分27km付近～36km付近)
 利根川水系小貝川 (うち、小貝川の直接関連部分41km付近～49km付近)

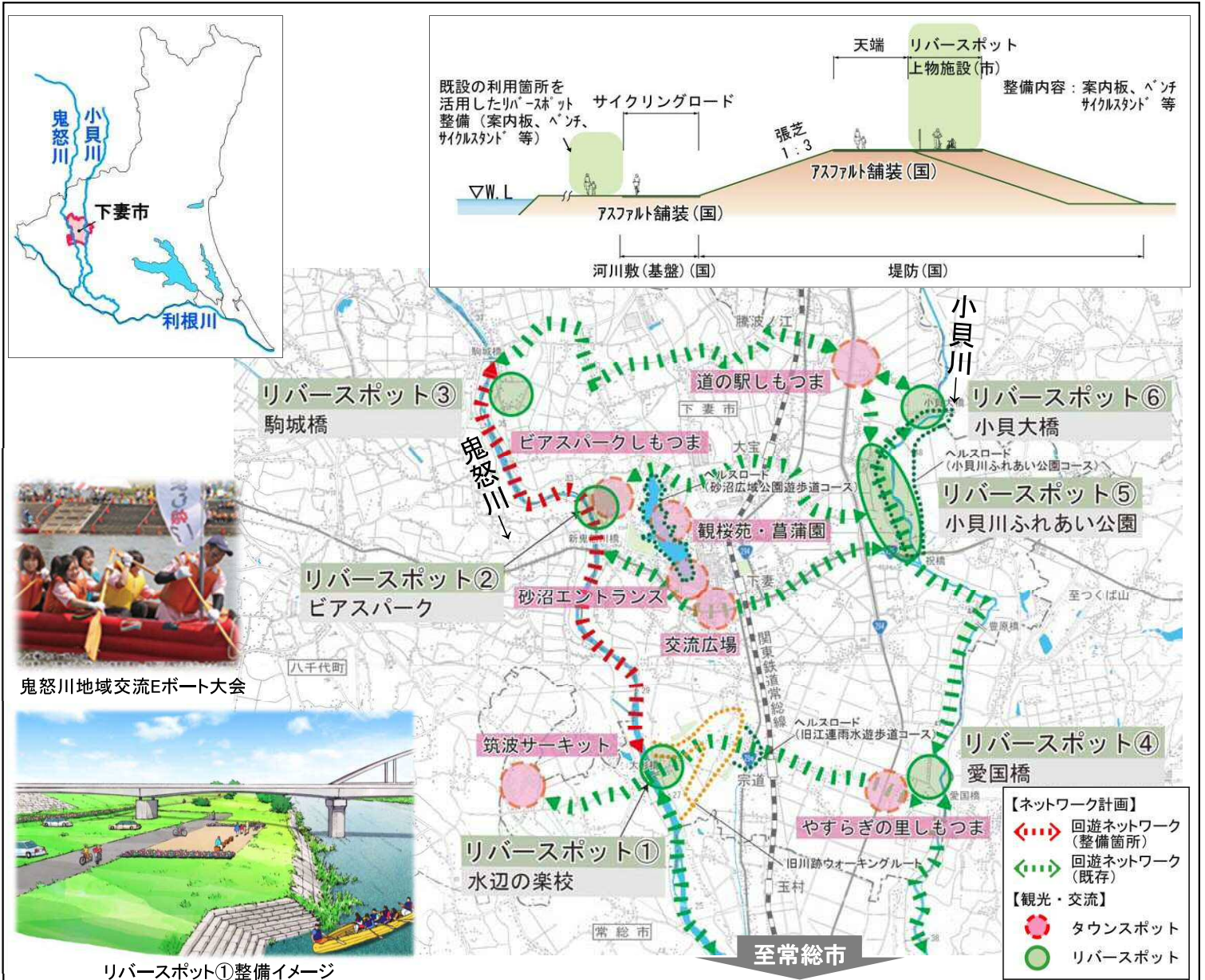
1. 概要

鬼怒川下流域(茨城県区域)では、平成27年9月関東・東北豪雨により発生した大きな被害に対し、国、茨城県、常総市、下妻市など鬼怒川沿川7市町が主体となり、ハードとソフトが一体となった緊急的な治水対策「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を実施しています。

本計画では、良好な景観や安全な水辺へのアクセス等を有する魅力あふれる川の拠点を「リバースポット」として位置づけ、鬼怒川の改修と併せて整備する管理用通路等をサイクリングロードとして活用することによって、周遊性の向上を図ります。また、「タウンスポッ」として位置付けるまちや沿川の歴史文化資源等の拠点とも、共通の案内表示を用いることによって水辺と街のネットワーク化を図り、鬼怒川下妻地区の平成27年9月関東・東北豪雨からの復興を後押しします。

2. 整備内容

- (国) 管理用通路(アスファルト舗装、橋梁、坂路)、リバースポット基盤整備
- (市) リバースポット上面整備(案内板、ベンチ、サイクルスタンド など)、タウンスポットへの案内表示設置



「常総市かわまちづくり」 (国土交通省、常総市)

市町村名: 茨城県 常総市
 対象河川: 利根川水系鬼怒川 (うち、鬼怒川の直接関連部分10km付近～23km付近)
 利根川水系小貝川 (うち、小貝川の直接関連部分23km付近～36km付近)

1. 概要

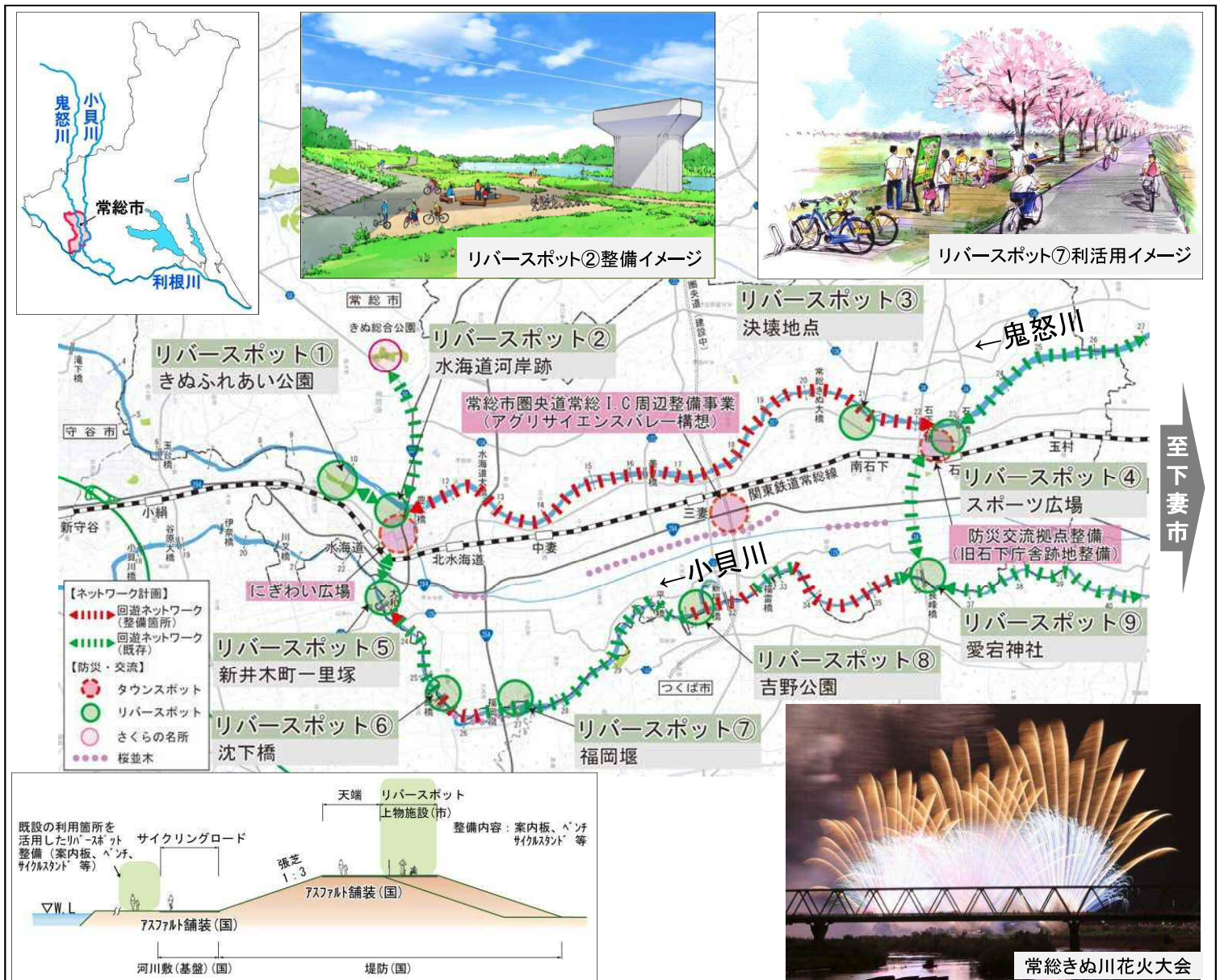
鬼怒川下流域(茨城県区域)では、平成27年9月関東・東北豪雨により発生した大きな被害に対し、国、茨城県、常総市、下妻市など鬼怒川沿川7市町が主体となり、ハードとソフトが一体となった緊急的な治水対策「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を実施しています。

本計画では、良好な景観や安全な水辺へのアクセス等を有する魅力あふれる川の拠点として「リバースポット」として位置づけ、鬼怒川の改修と併せて整備する管理用通路等をサイクリングロードとして活用することによって、周遊性の向上を図ります。また、「タウンスポット」として位置付けるまちや沿川の歴史文化資源等の拠点とも、共通の案内表示を用いることによって水辺と街のネットワーク化を図り、鬼怒川常総地区の平成27年9月関東・東北豪雨からの復興を後押しします。

2. 整備内容

(国) 管理用通路(アスファルト舗装、橋梁、坂路)、リバースポット基盤整備

(市) リバースポット上面整備(案内板、ベンチ、サイクルスタンド など)、タウンスポットへの案内表示設置



「戸多地区かわまちづくり」 (国土交通省・那珂市)

市町村名： 茨城県那珂市

対象河川： ^{なかがわ}那珂川水系那珂川

1. 概要

那珂市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略の一環で「いい那珂暮らし」をキャッチコピーとしてシティプロモーションを進めており、観光や交流促進のための取り組みを通じ、地域の魅力の認知を広げ、定住人口の増加を目指しています。

本計画では、川の良さを再発見できる水辺や多目的に活用できる広場を整備することともに、「まちづくりの主役は市民」という認識を原点に、地元住民や事業者などの関係者が知恵を出しあい、特産品の販売所スペースとしての利用やスポーツや交流イベントなどの取り組みを行うことにより、地域の魅力向上を図ります。

2. 整備内容

(国) 親水護岸、管理用通路、基盤整正

(市) 多目的広場、水遊び場、船降ろし場、駐車場など



整備イメージ

国整備

市整備

特産品の販売所スペース(イメージ)



交流イベント(イメージ)



堤防美化(桜堤)

多目的広場

駐車場

駐車場

管理用通路

ワンド

親水護岸

船降ろし場

水遊び場

キャッチコピーロゴ(案)



船降ろし場利用イメージ



水遊び場利用イメージ

はねだくこうあとち
「羽田空港跡地かわまちづくり」(国土交通省、大田区)
おおたく

市町村名： 東京都大田区

対象河川： ^{たまがわ}多摩川水系 多摩川

1. 概要

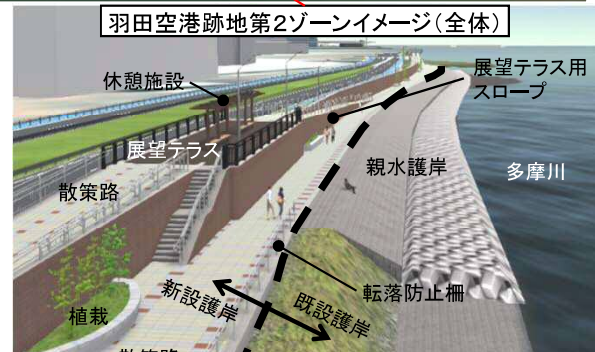
大田区では、『世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成～HANEDAゲートウェイ～』を、日本の玄関口である羽田空港跡地第1ゾーンのまちづくりコンセプトとして、国内外の人々、企業、情報が集い交わることで、新産業の創造と世界に向けた発信拠点の形成を目指しています。

本計画は、地元住民を始めとした跡地を訪れる多様な人々が水辺にふれ合えるように、親水緑地、散策路やスロープなどの整備とともに、舟運によるネットワーク構築や水辺での新しいレジャーイベント開催などの取組を推進することで、都市に残された自然豊かな空間で憩い・賑わいの創出と、羽田空港跡地まちづくりとも連携した水辺の利用・交流促進を目指します。

2. 整備内容

(国) 散策路(管理用通路)、スロープ等

(区) 親水緑地(休憩施設、植栽等)、水際空間等



※現段階のイメージであり今後変更することがあります

かわまちづくり支援制度 ～良好なまち空間と水辺空間の形成～

別紙 2 (参考)

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指します。

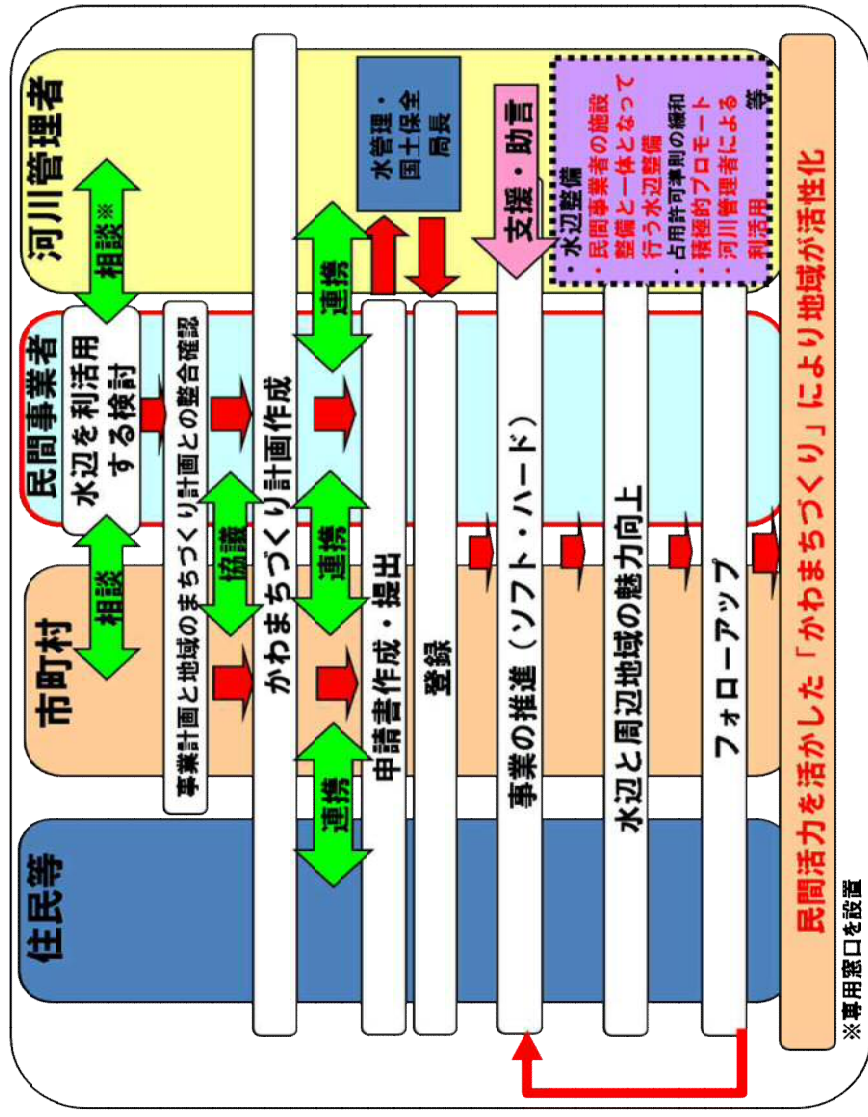
○事業概要

ソフト対策

- ・ 民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度等を活用
- ・ 河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援

ハード支援

- ・ まちづくりと一体となった水辺整備を積極的に支援



- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象



最上川／長井市

管理用通路をフットパスとして活用
(最上川)